

1人でも多くの母と子が母乳で育てられる幸せを

'95 第4回 世界母乳育児週間

母乳育児シンポジウム

主催

日本母乳の会

(母乳をすすめるための
産科医と小児科医の会)

1995年8月5日～6日

大阪市 新阪急ホテル

'95 第4回 世界母乳育児週間

母乳育児シンポジウム

記録集

日本母乳の会

1995年8月5日～6日

●母乳育児成功のための10カ条

●産科医と小児科医へのメッセージ 山内逸郎

哺乳動物の掟

母乳権

医療者の意識改革

母乳育児成功のための必要条件（山内3.5か条）

支援組織

誤解誤認

第4回母乳育児シンポジウム記録集

〔開会にあたって〕

開会挨拶

メインテーマは「出生直後からの母子同室」と「糖水追加の問題」

日本母乳の会運営委員長 橋本武夫

ユニセフメッセージ

「赤ちゃんとお母さんにやさしい病院」を目指して

ユニセフ駐日代表事務所長 和気邦夫

厚生省メッセージ

「母乳育児成功のための10か条」を参考にすすめていきたい

厚生省母子保健課課長補佐 清水美登里

「赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly hospital）」認定式

〔第1部〕メインテーマ①

出生直後からの母子同室に向けて

母子同室総論—なぜ、母子同室が必要か

国立岡山病院小児医療センター 山内芳忠

産科開業医の実践の経験から

石井第一産科婦人科クリニック 石井廣重

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) へ向けて

国立長崎中央病院小児科 吉永宗義

助産婦からみた問題点と成果—助産婦の力だけでも完全母子同室ができた—

鹿児島大学医学部付属病院産婦人科病棟 大迫圭子

添い寝をするお母さん達

関塚医院 関塚正昭

総合討議

Q 早期に母子分離された赤ちゃんは、心に影響を受けるのでしょうか

A 母子異室、新生児管理と引き換えに失ったものを考える必要があります

A 小さい時の心の傷は無視できないと思います

A 子どもに合わせて考えていくことが何よりも大切

A 出産直後の授乳から生まれ、始まる母と子の基本的信頼関係

・「女性は子を産み、授乳して母になる」を実感

・母子同室、添い寝は幼児虐待防止の面からも、大変重要です

Q 母子同室の導入に当たって何が障害でしたか

A 医師、助産婦達のコミュニケーションを作り上げることが大切です

Q お母さんが不安な時に、言われる決め手の言葉を教えてください

A “何とか10ccまで頑張ろうね”です

A 「赤ちゃんに吸わせると、お母さんから湧いてくる」

A お母さんにニッコリ笑い、「元気もいいし、大丈夫ですよ」と励まします

A 「わずか10ccしか出ない」ではなく、「10ccも出た」と言います

Q 体重減少が10%以上の場合、発熱する赤ちゃんがいるのですが

A 帝王切開でも完全母乳育児はできます

A 検査後、小児科医の診察を

A 2500g 以下でも、母乳だけで...

A マッサージはほとんど必要ありません

A 生理的体重減少についての発想を転換しなくてはなりません

A 母乳の出が良いのに、体重が増えない場合、母乳のナトリウムが高い場合も

- ・医療者の誤った指導がどんなにか、お母さん方を傷つけているか
- ・医療の現場には、父性・母性の両方の原理が必要です

〔第2部〕 メインテーマ②

糖水追加の対応と問題

小児科医からの報告 総合病院勤医協札幌病院小児科 瀬川雅史

—基本的に糖水は必要ないと考えています—

産科医からの報告 高田医院 高田恭宏

—母乳だけで十分できます—

勤務助産婦からの報告 長崎大学医学部付属病院産科 小川由美子

—赤ちゃんが泣くことへの対処—

開業助産婦からの報告 瀧沢助産院 瀧沢和子

—糖水は使わず、母親の了解を得てもらい乳に—

指定発言 岡村産婦人科 岡村博行

—生後3日間は“お弁当と水筒”だけで十分—

総合討議

Q どうしても、母乳分泌が悪い場合、どのような指導をしていますか

A 母親の了解を得て、もらい乳を1～2回しています

Q 発熱というのは何を根拠にしていますか

A 発熱というより体温上昇と考え、環境温を考えることが大切ではないか

A 頻回に飲ませていると、それだけで体温が下がることが多いのです

A 自然に下がってしまう赤ちゃんもいますし、難しい問題です

- Qヘマトリックスが60を超えたら、やはり、脱水ではないでしょうか
A 糖水を本当に足さなければならぬ病的なものかどうかの判断を
・この問題について、産科医と小児科医はもっと話し合う必要があります
・胎脂は保温と感染予防に役立っているのではないのでしょうか
Qハイリスクの赤ちゃんの場合はどうしたらよいのでしょうか
・赤ちゃんが泣く原因をもっと考えなければなりません
A 赤ちゃんが泣くとお母さんが不安になり、糖水を与えることも
・「日本母乳の会」で糖水追加のクライテリアを研究して欲しい

〔第3部〕

一般演題及び各地の活動報告

母乳の授乳中の乳脂肪量変化

埼玉大学教育学部 志村洋子

開業小児科医が出生前に行う母乳育児指導

渡辺小児科医院 渡辺昭彦

糖水補充の基準作成と新生児を預ける母親の疲労研究

日赤医療センター産科 間仁田裕子

母子同室、母乳育児の実践

津医療生協白塚診療所 井岡智子

宮城県における母乳育児率調査

国立仙台病院母子センター 高橋英子

阪神大震災における母乳育児支援活動

ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル・神戸 各務泰子

ボリビアの母乳育児と出産の傾向

国立国際医療センター国際医療協力局 清水利恭

〔第4部〕 特別講演

母乳育児におけるお母さんの悩み・不安

札幌・天使病院小児科 南部春生

〔第5部〕

母親と医療者との交流会

どうぞ、皆さん、ご自由にお話ください
授乳中の薬の影響はどう考えますか
授乳と骨粗鬆症の関係について
産婦に問題があると思われる状態の時の母乳
自然卒乳(おっぱいを自然にやめる)
母乳と離乳食
授乳と母体の生理との関係は？
混合から母乳だけにすることができます
妊娠した時の上の子どもの授乳
その他、何でもお話ください
母親と医療者の交流会に参加して

〔資料〕

赤ちゃんにやさしい病院
子どもの権利に関する条約
母乳代替品のマーケティングに関する国際基準(WHO 基準)
母乳育児は世界の流れに
「母乳をすすめるための産科医と小児会の会」設立にあたって
「母乳をすすめるための産科医と小児会の会」から「日本母乳の会」へ
「日本母乳の会」会則
「日本母乳の会」入会申込書

編集／永山美千子
編集協力／伊藤直美 片桐田鶴子 堀田八重子
松田絃子 永山聡子